

① 広大な手賀沼干拓地 (斜面林・田園八景)

手賀沼ふれあいラインに沿う東西約6km、南北約500m～1kmの干拓地です。手賀沼干拓事業は江戸時代から何度も進められましたが、戦後ようやく現在の広大な水田地帯となりました。

② 葺不合神社 《我孫子遺産》

国道356号に面した一の鳥居から下り、二の鳥居から上がる珍しい参道です。古い2本の大イチョウは市指定保存樹木となっています。二の鳥居、拝殿、後方の本殿は市指定文化財です。本殿の「天岩戸」「八岐大蛇(やまたのおろち)退治」等の彫刻が見事です。新四国相馬霊場第77番の札所があります。

③ 古戸の坂の十字路 (坂道八景)

二本の坂道がX字形に交叉し、迷宮に入り込んだような錯覚に襲われます。この十字路は古戸稻荷神社や天神様の道であり、昔から住民の大切な生活道路です。

④ 天満宮

利根川沿いの水田地帯を見下ろす台地にあり、地元では天神様と言われ、梅や桜、イチョウの古木と孟宗竹林に囲まれています。国土地理院の三等三角点があります。

⑤ 利根水郷ラインから望む緑の帯 (斜面林・田園八景)

市民体育館付近から見る田園と直線距離で約5kmにわたって見渡せる斜面林の緑の帯は、我孫子市の北面の代表的な景観です。その斜面林に沿ってハケの道の迷路のように曲がりくねって続いています。

⑥ ハケの道の迷路 (ハケの道八景)

我孫子の台地の北面を包み込む斜面林は延々と続きます。ハケの道はその斜面林に沿い、片側に谷津や田園を眺め、迷路のようです。水神様の祠を過ぎて東端の新木小学校の下まで続きます。

⑦ 新木駅北側付近の樹林地 (成田線車窓八景)

東西数百メートルにわたる屋敷林で、その昔、大きかった手賀沼からの強風を防ぐために各屋敷の南側に植えられました。シイノキ、ムク、ニレ、ケヤキなど、樹齢200年以上の樹もあります。

⑧ 「やすらぎの道」の並木 (成田線車窓八景)

新木駅前「やすらぎの道」のムサシノケヤキは、箒を逆さまにしたようなススキリとした立ち姿です。並木は東に進み布佐平和台に入るとトウカエデに変わります。

《健脚コースの見どころ》

○ 高垣のある通り

二層構造の生垣で、高さは5m以上あり、平成9年に第1回我孫子市景観賞を受賞しました。山背(やませ:北東の風の意)が吹くと、かつては茅葺屋根がはかれたそうで、それを防ぐため巡らせた高垣が現在も残っています。

○ 桜井戸

中相馬の七ツ井戸の一つで、かつて飲料水、農業用水として村民の生活を支えてきた共同井戸です。今でも年末に井戸掃除が行われ、しめ縄が張られています。

⑧ 「やすらぎの道」の並木

⑦ 新木駅北側付近の樹林地

新木駅のホームや成田線の車窓からご覧ください

ゴール・新木駅北口

⑥ ハケの道の迷路

利根水郷ラインから望む緑の帯

④ 天満宮

③ 古戸の坂の十字路

② 葺不合神社

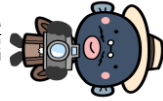
① 広大な手賀沼干拓地

スタート・新木駅南口

コース約 5.0km  
消費カロリー 225Kcal  
体重60kgの方が  
時速4kmで歩いた場合



手賀沼の  
うなぎちゃん



八景歩き 検索

ハ景歩きは他にも  
コースがあるよ!

新木・古戸の  
古社と里を巡るコース

我孫子のいるいる  
八景歩き

布佐・新木  
エリア 2

## 企画・編集 我孫子の景観を育てる会